

基礎・境界 ソサイエティ

ニュース レター

September 2002 No.41



The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers

目 次

- 平成 13 年度フェロー受賞記念講演会報告 <石井孝明 (東工大・精研)> 2
- 平成 13 年度フェロー受賞記念講演会報告 <応用音響研究専門委員会幹事 浅野太 (産総研)> ... 2
- 平成 14 年度基礎・境界ソサイエティ出前講演会報告 久津輪敏郎 (大阪工業大学) > 3
- 2003 年 基礎・境界ソサイエティ大会 企画 案内 4
- 開催案内 NOLTA2002 <上田哲史 (徳島大)> 6
- 開催案内 SITA2002 <坂庭好一 (東工大)> 6
- 研究会案内 7
- 関連行事カレンダー 9
- 論文誌特集号カレンダー 9

平成 13 年度フェロー受賞記念講演会報告

石井孝明（東工大・精研）



写真 辻野次郎丸教授

6月の超音波研究会は、平成14年6月28日（金）に東京工業大学大岡山キャンパス百年記念館2F第一会議室にて開催されました。今回は「医用超音波」と「一般」の合わせて8件の講演発表があり、これらの通常講演終了後に、辻野次郎丸教授（神奈川大・工）の電子情報通信学会フェロー受賞記念講演がありました。辻野教授の御専門の一端を紹介させていただきますと、まず、第一に今回の記念講演でもお話しいただいておりますが、金属材料の超音波溶接を挙げられます。半導体素子（例えばCPU、メモリー、等）のワイヤーボンディングには超音波溶接が広く用いられており、半導体産業分野においては、辻野教授の研究成果は常に注目されてきています。超音波溶接に関しては、超音波振動の複合化、高周波化、大型化、マイクロ化、等々、様々なアイデアを提案し、その成果を学会で発表し続けておられます。その他にも、超音波プラスチック溶接、超音波曲げ加工、超音波粉体成型、超音波モータ、大型超音波振動子およびその制御、等々、幅広く非常にアクティブに研究活動を展開されており、日本国内のみならず海外でも活発に活動されています。産業界のニーズに応えるとともにシーズの提供も行っており、超音波応用の第一人者であり、パイオニアでもある辻野教授の幅広くかつ緻密なご研究は国内外の多くの方に支持され、その成果は大いに期待されています。このたびの受賞は、これらの永年にわたる辻野教授の強力超音波応用技術の研究・開発、貢献、学問・技術におけるの多大な功績が認められたもので、大変名誉なことであるとともに、これからの御研究の益々の御発展を祈念するものであります。さて、辻野教授のフェロー受賞記念講演は、「複合振動を用いた強力超音波応用について」と題して行われました。辻野教授からは、御出身の東京工業大学時代の研究から始まって現在に至るまでの、強力超音波の基礎および応用研究の歴史と成果そして今後の展望をわかりやすくお話しいただきました（写真1）。まさに”強力”超音波だけあってスケールの大きな話題や、ユーモア溢れるお話が続き、会場は時には笑いに包まれつつ和やかな雰囲気の中に終了しました。最後に、辻野教授の受賞をお祝いすると共に、本学会および本研究会が益々発展することを祈念して、記念講演報告の結びとさせていただきます。

平成 13 年度フェロー受賞記念講演会報告

応用音響研究専門委員会幹事 浅野太（産総研）

芝浦工業大学教授の大賀寿郎先生が、電子情報通信学会フェローの称号を受賞されました。これを記念して、2002年6月28日、機械振興会館で行われた応用音響研究会において、「電話機の時代- 電話音響技術の過去、現在そして未来 - 」と題し、フェロー受賞記念講演を開催いたしました。講演には、50名の参加があり、講演終了後も、活発な質問や討論がなされ、盛況のうちに終わりました。講演では、大賀先生が研究に関与された20世紀後半の電話機技術、とりわけ、音響関連の技術の進歩を、(1) 復興の時代、(2) 成長の時代、(3) 充足の時代、(4) 商品の時代、(5) 携帯の時代、(6) 融合の時代、の6つの時代に区分し、わかりやすく解説されました。

以下に、講演資料から、趣旨を抜粋します。(1) 復興の時代は、戦後の荒廃からの立ち上がりから、4号電話機が開発されるまでの時代であり、何もないところから、基本的な材料、測定技術などほとんどすべてのことを手探りで開発した、いわば開拓時代です。(2) 成長の時代では、600形電話(回転ダイヤル式黒電話)が開発され、新幹線開業、東京オリンピックなどとあいまって、大量生産、大量消費に象徴される高度成長の時代となります。(3) 充足の時代では、石油ショックなどによる物価上昇に伴い、コストダウンが緊急の課題となりました。(4) 商品の時代は、ICなどの普及に伴い、小型、軽量、高機能、魅力的なデザインの「電子化電話機」の時代でした。(5) 携帯の時代は、「いつでもどこでも通話する」という長年の夢を実現した時代であり、自動車電話に始まり、現在の爆発的な携帯電話の普及に至ります。最後の(6) 融合の時代では、電話の機能と他のさまざまな機能が融合され、これらの情報がインターネットを介してやり取りされる時代です。以上のように、電話機の発達の歴史とそして未来を様々な時代背景をとともに、短い時間の中で概観でき、非常に有意義な講演でした。現在の携帯電話があたりまえの時代において、戦後の復興間もない時代の先達の苦勞とその功績を知ることが、特に若手の研究者、技術者の参加者の方々にとって、貴重な体験だったのではないのでしょうか。講演にもあったように、携帯電話やインターネット電話の時代になっても、黒電話の暖かい音を忘れずにいたいものです。大賀寿郎先生には、この場を借りて、感謝申し上げます。

報告

平成14年度ソサイエティ企画 第1回出前講演会 報告

事業担当幹事 大槻知明(東京理科大)

基礎・境界ソサイエティ主催(OR共催)の出前講演会「最新技術をわかりやすく紹介する講演会」につきまして、すでに実施された各支部からの報告を頂きました。ここに御報告致します。

日時：平成14年6月28日(金) 16:40~18:10

場所：大阪工業大学 大宮学舎 251教室(大阪市旭区大宮5-16-1)

演題：ブロードバンド技術の最新動向

講師：大阪大学大学院 工学研究科 通信工学専攻 助教授
三瓶政一氏

主催：電子情報通信学会関西支部・同学生会
電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティ

電子情報通信学会基礎境界ソサイエティと関西支部・同学生会による本年度第1回の出前講演会を6月28日(金)に開催しました。まず、支部長代理として関西支部庶務幹事の谷岡匠氏より開会の挨拶と講演者の紹介があり、続いて講師の三瓶政一先生より、「ブロードバンド技術の最新動向」という題目で、現在のブロードバンドをとりまく状況、ブロードバンドサービスのための通信インフラの進展並びに有線・無線技術、既存・新規技術の融合を含めた、今後のブロードバンド通信の展開方向等について、解りやすく解説していただきました。参加者は250名以上で、立見が出るほどの盛況でありましたが、最新の技術の解りやすい解説に皆静かに聞き入っており、非常に有益だったと思われました。

久津輪敏郎(大阪工業大学)

2002年 基礎・境界ソサイエティ大会 企画 案内

宮崎大学(宮崎県宮崎市)において9月10日(火)~13日(金)の4日間の日程で開催される標記大会において、基礎・境界ソサイエティでは次の企画(7月末日現在)を催します。

ソサイエティ特別企画

KA - 1. Silicon Sea Belt 福岡 - システム LSI の設計拠点の構築を目指して -

共催：電子情報通信学会九州支部(一般公開、聴講無料)

9月10日 15:00~16:30

座長：築山修治(中大)

講師：安浦寛人(九大)

パネル討論

PA - 1. 国際的に通用する回路とシステム技術者を育成するには

9月10日 13:00~15:30

座長：副井 裕(鳥取大)

PA-1-1 JABEE プログラムにおける質と量
菊池久和(新潟大)

PA-1-2 海外におけるSOC 設計教育
小澤時典(STARC)

PA-1-3 国際的技術者の育成をめざした企業内教育の一事例

長島重夫(日立)

PA-1-4 システム・オン・チップ(SOC) 寄附講座について

大附辰夫(早大)

PA-1-5 JABEE による技術者教育認定 - 「プログラム」と「カリキュラム」の関係 -
牧野光則(中大)

PA - 2. デジタル信号処理実現技術の歴史と将来展開(フェロー講演会含む)

9月12日 13:00~17:00

座長：南 重信(東芝)

フェロー受賞記念講演 13:05~13:50

「デジタル信号処理の実現とマルチメディア処理」
西谷隆夫(NEC)

PA-2-1 DSP の歴史、現状と展開
高見澤 隆(日本 TI)

PA-2-2 LSI 技術の進展と Media Embedded Processor

古山 透(東芝)

PA-2-3 適応信号処理アルゴリズムの発展とその応用

安川 博(愛知県立大)

PA-2-4 動画信号処理技術の進展とその実現
伊藤 隆(富士通研)

PA-2-5 DSP プログラミング技術の進展
杉野暢彦(東工大)

PA - 3. 高速電力線通信の実現に向けて

9月12日 13:00~15:30

座長：都築伸二(愛媛大)

PA-3-1 ユーザから見たエネルギーと情報の統合配送(IPID)への期待

森広芳照(京大)

PA-3-2 海外の電力線通信の事情と、ビジネスの立場から

後藤 健(松下電器)

PA-3-3 電力線搬送通信設備に関する研究会の総括
未定

チュートリアル講演

TA - 1. ハイブリッドダイナミカルシステム - 非線形科学と計算機科学の接点 -

9月10日 13:00~16:30

座長：潮 俊光(阪大)

TA-1-1 ハイブリッドダイナミカルシステムとは?
潮 俊光(阪大)

TA-1-2 ハイブリッドシステムの可到達問題
穴井宏和(富士通研)

TA-1-3 ヒステリシススイッチを含む回路：同期現象の解析と電源回路への応用
斎藤利通(法政大)

TA-1-4 マルチタイムスケール系における分岐・特異摂動解析：生物モデルを例として
土居伸二・熊谷貞俊(阪大)

TA - 2. サブ100nm 時代に向けた物理設計技術の動向と課題

9月10日 9:00~12:00

座長：川上善之(松下電器)

TA-2-1 サブ100nm時代に向けた物理設計技術の動向と課題

増田弘生 (STARC)

TA-2-2 半導体技術ロードマップ (2001年度版) が示す設計課題

山本一郎 (沖電気)

JEITA/DMD研究会

TA-2-3 プロセスばらつきを考慮した遅延計算モデルの提案とばらつき要因解析

栗山 茂 (三菱電機)・菊地原秀行 (沖電気)・安島裕恵 (日立)・永瀬圭司 (シャープ)・坂田明雄 (東芝セミコンダクタ社)・山口龍一 (松下電器)

TA-2-4 インダクタンスに起因する配線遅延変動の統計的予測手法

佐藤高史 (日立)・金本俊幾 (三菱電機)・黒川 敦 (三洋電機)・川上善之 (松下電器)・岡 宏規 (NTT-AT)・北浦智靖 (富士通研)・池内敦彦 (東芝)・小林宏行 (日本シノプシス)・橋本昌宜 (京大)

TA-2-5 インダクタンス起因ノイズのトレンド - クロストークと dI/dt ノイズ

山縣暢英 (ソニー)・貝原光男 (リコー)・蜂屋孝太郎 (NEC)・小野信任 (セイコーインスツルメンツ)

部門別公募講演件数一覧

部門		一般講演	シンポジウム講演	部門		一般講演	シンポジウム講演
A-1	回路とシステム	31	6	A-12	コンカレント工学	4	
A-2	非線形問題	24		A-13	思考と言語	0	
A-3	VLSI 設計技術	7		A-14	ヒューマンコミュニケーション基礎	0	
A-4	デジタル信号処理	34		A-15	ヒューマン情報処理	0	
A-5	スペクトル拡散	18		A-16	マルチメディア・仮想環境基礎	0	
A-6	情報理論	16	5	A-17	ITS	28	
A-7	情報セキュリティ	11		A-18	安全性	1	
A-8	技術と社会・倫理	4		A-19	福祉情報工学	0	
A-9	信頼性	3	3		合計	193	21
A-10	応用音響	2					
A-11	超音波	10	7				

NOLTA2002

上田哲史 (徳島大)

非線形理論とそれらの応用に関する研究分野は、近年、電子情報通信関連領域の基礎理論から産業実用に至るまで、さまざまな領域で注目されており、活発に研究が進められています。本学会基礎・境界ソサイエティでは、長年活動している非線形問題研究専門委員会 (NLP) や、1990 年以来シンポジウムを毎年開催している非線形理論とその応用学術研究集会運営委員会 (NOLTA)、加えてこれらの活動を円滑かつ強力に推進するために 1999 年 5 月に発足した非線形理論とその応用サブソサイエティがこの分野を担当し、研究会・シンポジウム等で優れた研究成果が数多く発表されています。NOLTA は本年度 9 回目の国際シンポジウム 2002 International Symposium on Nonlinear Theory and its Applications (NOLTA 2002) を開催します。

日時：平成 14 年 10 月 7 日 (月) ~ 10 月 11 日 (金)
場所：西安国際会議中心，西安，中国

会議では、非線形基礎・応用分野の一般講演約 300 件が予定されています。特筆すべき点は情報理論とその応用国際シンポジウム 2002 International Symposium on Information Theory and its Applications (ISITA 2002) が同時開催されることです。ISITA2002 への参加優待、両会議のジョイントセッション企画など、盛りだくさんの特典もご用意しています。是非ご参加ください。詳細は、<http://risa.is.tokushima-u.ac.jp/NOLTA2002/> をご覧下さい。

また、本学会英文論文誌では NOLTA 2002 に関連した小特集号を、以下の日程で企画しております。

発行年月：2003 年 9 月

投稿締切：2002 年 12 月末 (予定)

この小特集では NOLTA 2002 で発表された論文を発展させた内容の投稿を期待しますが、それ以外の投稿も歓迎します。

第 25 回情報理論とその応用シンポジウム (SITA2002)

坂庭 好一 (東京工業大学)

下記の要領で第 25 回情報理論とその応用シンポジウム (SITA2002) を開催いたします。多数の方々のご参加及び論文発表をお待ちしております。SITA2002 のホームページ (<http://www.sita.gr.jp/SITA2002/>) で参加・発表申込方法、宿泊等の詳細をご案内しておりますので、是非ご覧ください。

日時：2002 年 12 月 10 日 (火) ~ 13 日 (金)

(12 月 10 日は電子情報通信学会情報理論研究会を開催)

場所：群馬県 伊香保温泉 ホテル天坊

〒377-0195 群馬県北群馬郡伊香保町 396-20

TEL: 0279-72-4489 FAX: 0279-72-4611

Web: <http://www.tenbo.com/>

分野:

情報理論基礎, シャノン理論, 符号理論, 情報源符号化, 通信路符号化, データ圧縮, 符号化変調, 情報理論応用, 暗号, 情報セキュリティ, 系列, 確率過程, 画像・音声処理, 通信方式, 信号処理, 情報ネットワーク, 光通信理論, スペクトル拡散通信, ニューラルネットワーク, 記録素子用の符号化・信号処理, 量

子情報理論, 量子符号・暗号, その他

参加・発表申込締切: 9 月 24 日 (火)

最終原稿締切: 10 月 16 日 (水)

問合先: 〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1

東京工業大学大学院理工学研究科

集積システム専攻 植松研究室内

SITA2002 実行委員会事務局

TEL: 03-5734-3243

FAX: 03-5734-2905

E-mail: sita2002_jim@comm.ss.titech.ac.jp

Web: <http://www.sita.gr.jp/SITA2002/>

主催: 情報理論とその応用学会

共催: 電子情報通信学会基礎・境界ソサイエティ情報通信基礎サブソサイエティ

(情報理論研究専門委員会, 情報セキュリティ研究専門委員会, スペクトル拡散研究専門委員会, 高度交通システム研究専門委員会),

IEEE Information Theory Society, Japan Chapter

研究会案内

研究会	予定	発表申込連絡先
回路とシステム (CAS)	9/3-4 (阪大)「非線形回路とシステムおよび一般」NLP 共催, 11/7-8 (福井大)「グラフ, ペトリ, ニューラルネット, および一般」CST 共催, 1/22-24 (和歌山・白浜温泉)「一般」, 3/17-18 (福島・日本大)「通信のための信号処理, および一般」CS・DSP 共催, ! (研究会ホームページ上で受け付けております) http://www.ieice.org/ess/cas	中西功 (鳥取大) isao@fed.tottori-u.ac.jp 横溝剛一 (日立製作所) yokomizo-goichi@sic.hitachi.co.jp
情報理論 (IT)	9月 (信州大)「一般」[申込締切済], 12/3-6 (群馬)「招待講演」, 3/26-27 (三重大)「サブソサイエティ大会, 招待講演, 一般」 http://ieice.kmb.info.gifu-u.ac.jp/	大濱靖匡 (九大) oohama@csce.kyushu-u.ac.jp 山口和彦 (電通大) yama@ice.uec.ac.jp
信頼性 (R)	9/20 (機械振興会館)「試験法, 信頼性理論, 信頼性一般」[申込締切済], 10/18 (九大)「信頼性一般」, 11/15 (大阪・中央電気倶楽部)「電子部品の信頼性, 信頼性一般」, 12/20 (機械振興会館)「保全性, 安全性, 信頼性一般」, 2/21 (四日市・住友電工)「機構部品の信頼性, 信頼性一般」 http://www.ieice.org/~r/	柳繁 (防衛大) shigeru@nda.ac.jp 陶山貢市 (東京商船大) suyama@ipc.tosho-u.ac.jp
超音波 (US)	9/19-20 (東北大)「一般」, 10/25 (湘南工科大)「医用超音波特集」, 11/29 (静岡大)「一般」, 12/16 (東工大)「強力超音波特集」, 1/23-24 (関西大)「一般」, 2/22 (三菱電機)「一般」 http://www.ieice.org/~us/	秋山いわき (湘南工科大) akiyama@iwaki.org 橋本研也 (千葉大) ken@sawlab.te.chiba-u.ac.jp
応用音響 (EA)	9/20 (NHK 技研)「マイクロホンアレイ・ブラインド分離・音源位置推定/一般」[申込締切済], 10/24,25 (長岡技科大)「一般」[申込締切済], 11/28,29 (熊本大)「一般」[申込締切済], 12/20 (機械振興会館)「アクティブノイズコントロール・音場制御・HRTF・HDA/一般」[申込締切済], 1/23,24 (関西大)「一般」[申込締切済], 3/28 (機械振興会館)[申込締切済]	浅野太 (産総研) f.asano@aist.go.jp
非線形問題 (NLP)	9/3-4 (大阪大)CAS 共催, 11月 (大分大学), 12月 (名古屋大学), 2月 (北大)NC 共催, 3月 (関東地区) http://www.ieice.org/~nlp/	早川美徳 (東北大) hida@cmpt.phys.tohoku.ac.jp 池口徹 (埼玉大) tohru@nls.ics.saitama-u.ac.jp
VLSI 設計技術 (VLD)	9/30-10/1 (機械振興会館)「プロセス, デバイス, 回路シミュレーション及び一般」SDM, 応物モデリング研究会 共催 [申込締切済], 11/27-29 (ラフォーレ琵琶湖)「デザインガイア」: CPSY, FTS, ICD 及び情処 ARC, SLDM 共催 システム LSI ワークショップ連続開催 [申込締切済], 1月 (パシフィコ横浜 (予定))「FPGA とその応用及び一般」CPSY, 情処 SLDM 共催 (予定)[申込締切済], 3月 (京大)「システムオンシリコン設計技術並びにこれを活用した VLSI」ICD 共催 (申込締切済), ! WWW 受け付けを http://www-ise2.ise.eng.osaka-u.ac.jp/vld/apply/ に開設しました。 http://www-ise2.ise.eng.osaka-u.ac.jp/vld/	宇佐美公良 (東芝) kimiyoshi.usami@toshiba.co.jp

(次ページへ続く)

(研究会案内 続き)

情報セキュリティ (ISEC)	7/18-19 (東北大)「一般」情報処理学会 CSEC 研と共催, 9/20 (機械振興会館)「一般」[申込締切済], 11/14-15 (京大)「一般」[申込締切 9/21], 12/16 (機械振興会館)「一般」[申込締切 10/21], 3/26-27 (三重大)「一般」 http://grampus.jaist.ac.jp:8080/isec/	満保雅浩 (東北大) manbow@ecip.tohoku.ac.jp
デジタル信号処理 (DSP)	9/12-13 (名大)「音声信号処理、DSP」SP と共催, 10月 (宮城県さくなみ温泉)「プロセッサ、DSP および画像処理 LSI、一般」ICD,IE と共催, 1/16-17 (北九州大)「一般」SAT,RCS と共催, 3月 (福島日大工学部)「信号処理、一般」CAS,CS と共催, ! (研究会ホームページを申し込みに御利用ください。) http://www.tkhm.elec.keio.ac.jp/dsp/	中静真 (東京農工大) nkszk@cc.tuat.ac.jp
スペクトル拡散 (SST)	10/21-22 (仙台・秋保温泉)[申込締切済], 12/19-20 (明大)[申込締切 10/20], 3/5-7 (YRP)「移動通信ワークショップ」[申込締切 12/20], 3/26-27 (三重大)IT, ITS, ISEC 共催 [申込締切 1/20] http://www.ieice.org/~sst	山里敬也 (名古屋大) yamazato@nuee.nagoya-u.ac.jp 眞田幸俊 (慶應大) sanada@elec.keio.ac.jp
コンカレント工学 (CST)	11/8-9 (福井大)「グラフ、ペトリ、ニューラルネット及び一般」, 1月 (未定)「コンカレント工学理論と応用一般」 http://www.ieice.org/~cst	高橋宏治 (東工大) koji@ee.titech.ac.jp
思考と言語 (TL)	10/25 (機械振興会館, 共催: 日本音響学会聴覚研究会)「言語聴覚認知・対話」[申込締切済], 12月 (東京工大), 3月 (ジャストシステム) http://www.ieice.org/~tl/	亀田弘之 (東京工大) kameda@cc.teu.ac.jp
技術と社会・倫理 (SITE)	10/11 (埼玉大)「一般」, 12月 (松山大)「一般」, 2月 (電通大)「一般」, ! 技術と社会・倫理研究専門委員会 (SITE) に改名 http://www.ice.dj.kit.ac.jp/face/	鶴原稔也 (NTT ドコモ) tsuruhara@nttdocomo.co.jp 木下宏揚 (神大) kineo@ee.kanagawa-u.ac.jp
高度交通システム (ITS)	9/24 (大阪電気倶楽部)「交通における計測, 一般」[申込締切済], 11月下旬 (産総研)「ITS コア技術・ショーケース, 一般」[申込締切 9/20], 1月下旬 (NHK 札幌放送局)「ITS 画像処理, 一般」[申込締切 12月], 3月上旬 (未定)「ITS 情報処理, 一般」, 3月下旬 (未定)「情報通信基礎サブソサエティ合同研究会」IT, SEC, SST 各研究会と共催 http://www.com.elec.mie-u.ac.jp/ITS/	水井潔 (関東学院大) mizui@kanto-gakuin.ac.jp
安全性 (SSS)	10/22 (東京商船大)「交通の安全」[申込締切済], 12/20 (機械振興会館)「安全性と信頼性」[申込締切 10/15], 3/19 (東京商船大)「安全性一般」 http://earth.ic.kanagawa-it.ac.jp/anzen/	佐藤吉信 (東京商船大) yoshi@ipc.tosho-u.ac.jp

最新情報は <http://www.ieice.org/ess/ESS/res-j.html> または各研究専門委員会のホームページを御覧下さい。

関連行事カレンダー

2002年	
10月7日 ～11日	NOLTA 2002 (於 Xi'an International Conference Center, Xi'an, PRC) 2002 International Symposium on Nonlinear Theory and its Applications 投稿締切 終了 連絡先 web をごらんください。 http://risa.is.tokushima-u.ac.jp/NOLTA2002/
10月7日 ～11日	ISITA 2002 (於 Xi'an International Conference Center, Xi'an, PRC) 2002 International Symposium on Information Theory and its Applications 投稿締切 終了 連絡先 isita2002@katayama.nuee.nagoya-u.ac.jp http://isita2002.katayama.nuee.nagoya-u.ac.jp/
12月10日 ～13日	SITA2002 (於 群馬県 伊香保温泉 ホテル天坊) 情報理論とその応用シンポジウム 投稿締切 終了 連絡先 web をごらんください。 http://www.sita.gr.jp/SITA2002/

関連行事の情報を真田までお寄せ下さい。最新情報は <http://www.ieice.org/ess/ESS/act-j.html> を御覧下さい。

英文論文誌 特集号カレンダー

特集テーマ	投稿締切日 発行月	問い合わせ先	案内掲載号 対象
多次元移動情報ネット ワーク (小特集)	2002年10月25日 2003年7月号	富里 繁 (NTT ドコモワイヤレス研究所) tel: 0468-40-3553, fax: 0468-40-3785 email: tomisato@mlab.nttdocomo.co.jp	会誌 8月号
デジタル信号処 理 (小特集)	2002年11月22日 2003年8月号	鈴木正清 (北見工業大学情報システム工学科) tel: 0157-26-9347, fax: email: masakiyo@cs.kitami-it.ac.jp	会誌 8月号

最新情報は <http://www.ieice.org/ess/ESS/trans-j.html> を御覧下さい。

英文論文誌小特集号の提案は、英文誌編集幹事・田口亮先生 (ataguchi@eng.musashi-tech.ac.jp) まで御連絡下さい。

編集後記

今年は既に2つの台風が日本を直撃して大変な思いをしました。本号をお届けする頃にはまた台風がシーズンに突入しているのでしょうか？基礎・境界ソサイエティの活動をさらに活性化するために、ぜひ皆様からの御意見を、sanada@elec.keio.ac.jp までお寄せください。ニューズレター掲載のための情報・記事なども歓迎しております。(真田幸俊)

平成 14 年度 基礎・境界ソサイエティ誌編集委員会

委員長 今井 秀樹 (東大)

委員	荒川 薫 (明大)	井家上 哲史 (明大)	池原 雅章 (慶大)	石浦 菜岐佐 (阪大)
	伊藤 和人 (埼玉大)	乾 健太郎 (九工大)	鎌田 一雄 (宇都宮大)	鎌田 賢 (茨城大)
	木村 晋二 (奈良先端大)	鈴木 喜久 (東京工芸大)	都木 徹 (NHK 技研)	田村 裕 (新潟工大)
	中田 広 (NTT)	牧野 光則 (中大)	山崎 浩一 (玉川大)	

幹事	眞田幸俊 (慶大) sanada@elec.keio.ac.jp	金子美博 (岐阜大) kaneko@info.gifu-u.ac.jp
----	-------------------------------------	--